

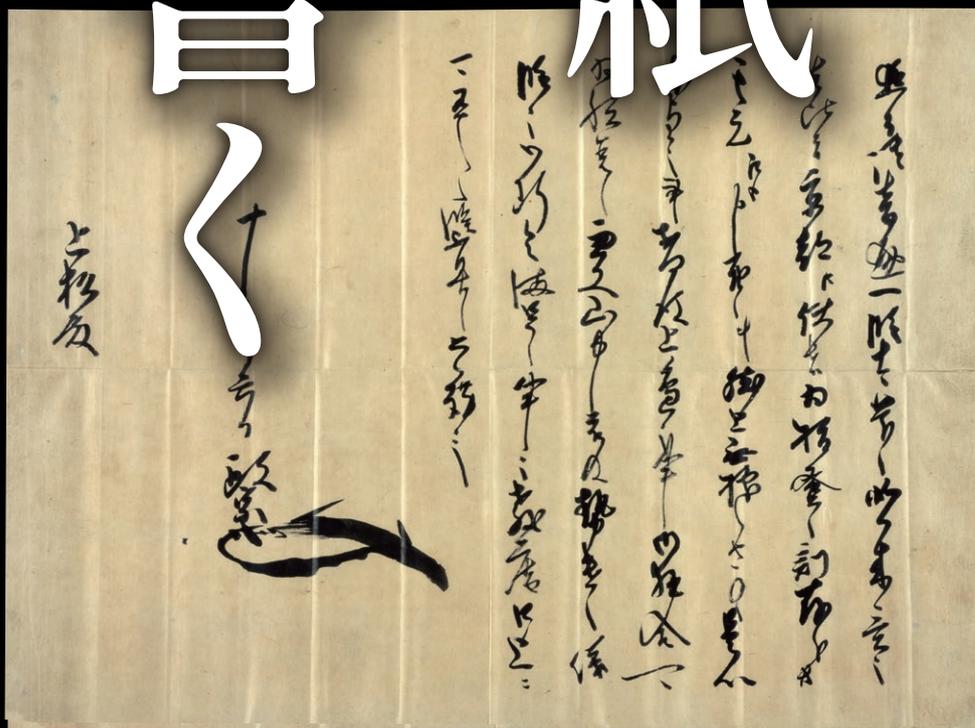
コレクション展

国宝「上杉家文書」の世界VII

戦国武将、

手紙

を書く

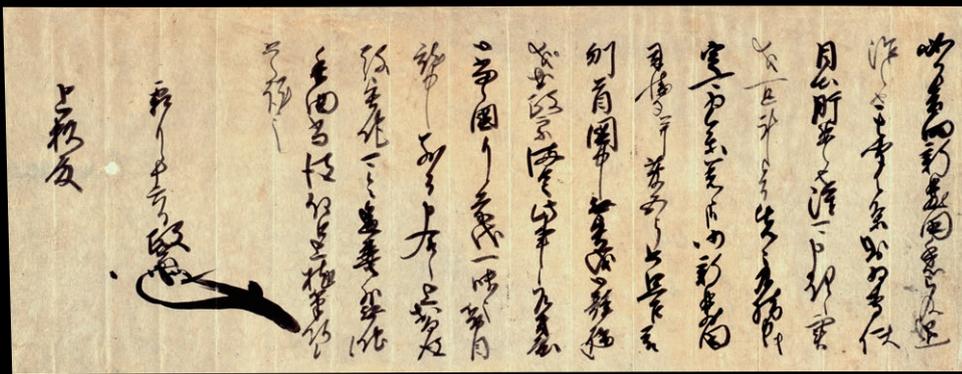


(天正 17 年) 10 月 6 日 伊達政宗書状

見つからないように…

どの紙で書こうか？

間違えると怒られるからな…



(天正 15 年) 11 月 16 日 伊達政宗書状

2024. 2. 10 土 ▶ 3. 10 日

開館時間 9:00 ~ 17:00 (入館は 16:30 まで) 休館日 2/13 火、19 日、26 日、3/4 日

入館料 一般 420 円 (330 円) / 高大生 220 円 (170 円) / 小中生 110 円 (80 円) ※常設展一体型、() は 20 名以上の団体料金

◆ギャラリートーク (担当学芸員による展示解説) 2/10 土、3/9 土 いずれも 14 時から ※要コレクション展入館料

伝国の杜 米沢市上杉博物館

〒992-0052 山形県米沢市丸の内1-2-1
TEL.0238-26-8001 FAX.0238-26-2660

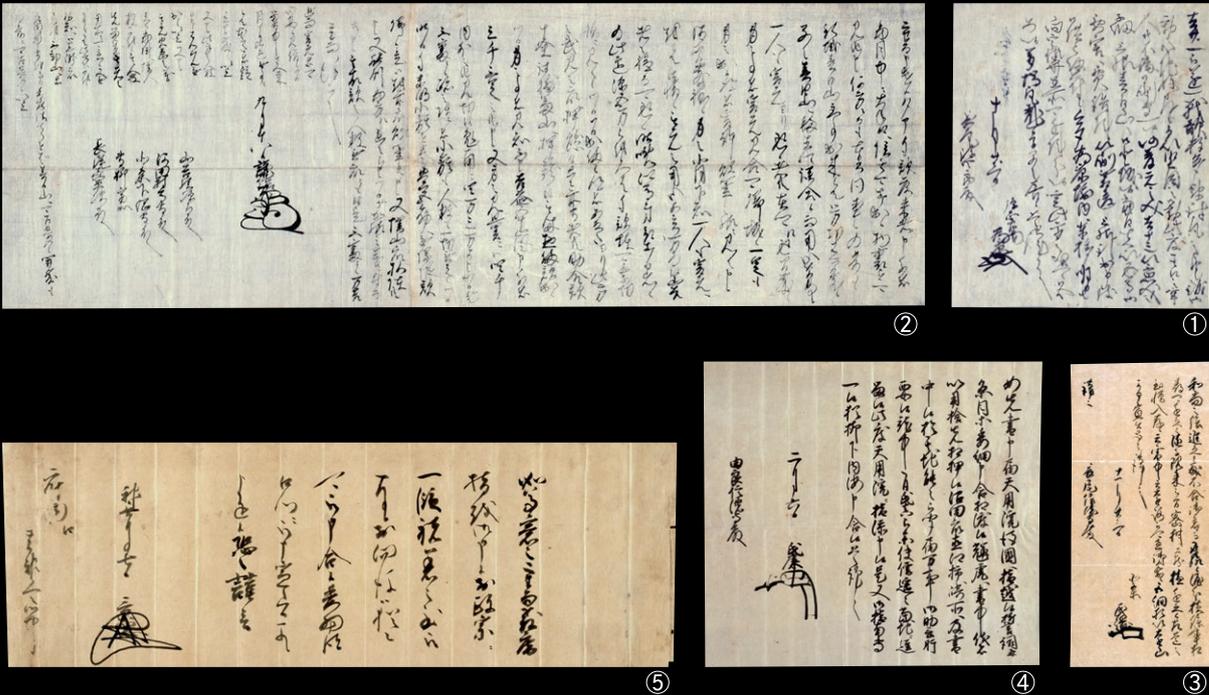
戦国武将、手紙を書く

米沢藩上杉家に伝来した「上杉家文書」（米沢市上杉博物館蔵）は、家の由緒を証するものとして、何よりも大事に伝えられてきました。平成元年（一九八九）、米沢市に寄贈され、同一三年に国宝指定されました。鎌倉時代から明治・大正時代に至る二〇〇〇点余に及ぶ古文書は、その充実した内容もとより、やりとりされた当時の姿のまままで伝えられているものが非常に多いことが高く評価された結果でした。それは、文書がどのように扱われたのかという事実を理解するとともに、料紙の持つ意味を考える素材としての評価でした。

この展覧会では、四〇点程度の戦国時代の文書を中心に、内容ややりとりする人たちの関係、送られる行程など、さまざまな視点から、文書の形について考えていきたいと思えます。開いた形や折りたたんだ形、折りたたみ方、封のされ方などを、手紙の書き方（書札礼）もふまえてみていきます。果たして、どのような特徴が出てくるのでしょうか？

主な展示予定資料 ※変更の可能性があります。

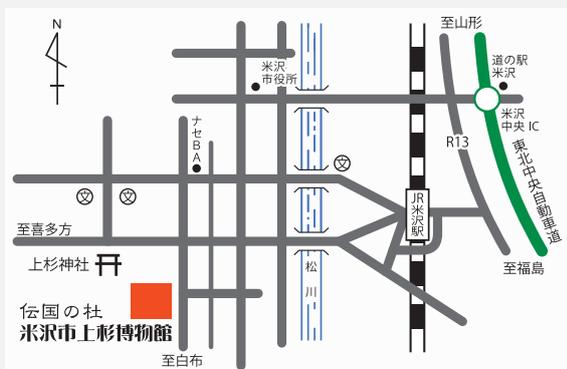
- ①（永正一〇年）一〇月二三日長尾為景書状
- ②（元龜三年）九月一八日上杉謙信書状
- ③（大永四年）一月二三日北条氏綱書状
- ④（永祿一二年）二月 六日北条氏康書状
- ⑤（天正一七年）一〇月 七日片倉景綱書状



次回展覧会予告
特別展「上杉茂憲」(仮)
 前期：2024年4月20日(土)～5月19日(日)
 後期：5月25日(土)～6月23日(日)

置賜文化ホールからのお知らせ
東儀秀樹コンサート ～バンドネオンの実力派、三浦一馬をゲストに迎えて～
 2024年3月3日(日) 14:00 開演
金剛流能公演 ～羽衣伝説～
 2024年3月20日(水祝) 14:00 開演
 お問い合わせ▶置賜文化ホール TEL 0238-26-2666

メンバー募集中！
ファンクラブ▶伝国の杜をもっと楽しみたい方に！特典いろいろ。
サポーター▶伝国の杜を支えるパワー！人とつながる、自分をいかせるボランティア。



アクセス ■JR米沢駅から2km（上杉神社隣接）
 ■市内循環バス「上杉神社前」下車
 ■市内循環バス南回り路線「九里学園前」下車
 ■米沢中央ICから約4km

YouTube 米沢市上杉博物館